

**令和3年度林業イノベーション推進総合対策のうち戦略的技術開発・実証事業に採択
～くじゅう九電の森（大分県由布市）にて下刈りドローンの実証試験を実施します～**

株式会社BlueBee（熊本市）、国立大学法人千葉大学（千葉市）、九州電力株式会社（福岡市）の3社は、林野庁の補助事業である「令和3年度林業イノベーション推進総合対策のうち戦略的技術開発・実証事業」に係る公募採択に伴い、11月12日（金）に「くじゅう九電の森（大分県由布市）」で、森林の下草を刈ることのできるドローン（以下、下刈りドローン）の実証試験を実施します。

本実証試験は全国初の取り組みであり、林野庁、国立研究開発法人森林研究・整備機構、他関係者のご協力をいただき実施するもので、現在開発中の下刈りドローンの有効性や安全性を検証します。

日本の林業には、慢性的な人手不足という課題があり、特に下刈り作業は、体力的に過酷で且つ危険が伴うため、林業従事者の離職の大きな原因の一つになっています。また、林業従事者の高齢化が著しいことから、下刈り作業の省力化（機械化）は喫緊の課題です。

このような背景を踏まえ、本事業では、大型ドローンと特殊刈払機を開発し、それらを組み合わせた下刈りドローンの実現を目指します。

3社は実証試験を通じ、下刈りドローンの実用化に向けた課題を抽出・解決し実用化に繋げることで、林業の生産性向上、安全性向上を目指すとともに、将来的には林業の植林等を可能にする「空飛ぶ作業ロボット」の開発に取り組む予定です。

3社は本事業を通じて、森林保全によるCO₂削減などSDGsの達成に貢献してまいります。

<三社の役割分担>

社名	役割
株式会社BlueBee	大型ドローン及び特殊刈払機開発
国立大学法人千葉大学	ドローン制御システム開発
九州電力株式会社	実証試験における諸調整及び運用提案

以 上